

SPORTS JAPAN アンバサダー活動 参加者から初のパラリンピック日本代表内定者**「大日方邦子 スキー教室～誰もが気軽にスキーを楽しめる環境を目指して～」より****アルペンスキー 高橋 幸平選手 (17 歳)**

たかはし こうへい

日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL 理事長：大東和美）では「SPORTS JAPAN アンバサダー」を任命し、SPORTS JAPAN の理念（スポーツに、もっと出会える国へ。もっと勇気をもらえる国へ。みんながスポーツで笑顔になれる、そんなニッポンをつくろう。）を広く国民に訴求するメッセンジャーになって頂いています。（現在 21 名を任命）

SPORTS JAPAN アンバサダーを 2012 年から就任頂いている、大日方邦子さん（長野、トリノパラリンピックアルペンスキー金メダリストで平昌パラリンピック日本選手団団長）によるスキー教室を 2013 年から開催しております。障がいの種類や程度、スキーのレベルに応じて、初心者から上級者までのクラス分けを行い、大日方さんはじめ森井大輝選手、狩野亮選手などトップレベルのスキーヤーと一緒にスキーを楽しむ機会として、障がいをお持ちの方、そのご家族などにご参加いただいております。スキー技術のレベルアップ、障がい者スキーへの理解を深めることはもちろん、障がいの有無を超えて、同じスキーを楽しむ時間を共有することにより、スポーツの楽しさや素晴らしさを共感して頂くことを目的としています。

そしてこの度、2015 年 3 月開催回に参加された高橋幸平さん（当時 14 歳）が、平昌パラリンピック日本代表に選出されました。JSC アンバサダー活動から初のパラリンピック代表の誕生になります。

【高橋幸平選手 コメント】

このスキー教室に参加させて頂き、初めて世界で活躍するトップ選手に教えてもらう機会になりました。大輝さん（森井選手）がコブ斜面を正確に滑る姿を間近で見て、チェアスキーであんなに速く、かっこよく滑ることができるんだ！と驚き、自分ももっともっと上手になりたい、大輝さんたちと一緒に滑りたいと強く思うようになりました。何よりもあの時の出会いが今の自分につながっていると感じます。初めてのパラリンピック出場でとても緊張していますが、今できる精一杯の力を出し切りたいです。

【大日方邦子アンバサダー コメント】

雪は障がいを持った人たちに苦勞を与えるものではなく、喜びを与える自然の恵みだということを伝えたい。また、誰もが気軽にスキーを楽しめる環境になってほしいという願いから、このスキー教室に協力させて頂くことになりました。高橋選手は伸び盛りの選手として成長を続けてくれています。日本代表チームでも先輩選手たちから可愛がられ、チームに溶け込んでくれています。JSC のアンバサダー活動が選手を育成する部分においても一つの形として実ったことを大変嬉しく思います。

【大東和美 JSC 理事長 コメント】

高橋選手が平昌パラリンピック日本代表に選出されたことは、日々のご本人の努力、ご家族、関係者のサポートあつての結果だと思えます。JSC のアンバサダー活動に参加された経験が高橋選手にとって夢の後押しとなっていましたら幸いです。また、大日方さんはじめ本事業にご尽力いただいている皆さまに改めて感謝申し上げます。